

6月17日は、生徒さんを2班に分けて、エコ鉢づくりの授業と苔玉づくりの授業を行いました。エコ鉢づくりは井上 妙子さんが担当。新聞紙、セメント、ペットボトルなどを使って、20 cm ほどの器を作り、袋に入れて名前を書いて保管、乾燥中です。私たちも出来上がりがとても楽しみです



出来た作品を袋に入れて名前を書き乾燥室へ

一方、苔玉づくりの授業は黒瀬 恵子さんが担当、あらかじめ準備した材料セットを選んでポットから植物を抜き、根鉢もケト土もそして苔もまーるく両手をうまく使って整えて、苔の上に糸を巻いて～いろいろあったけどがんばって仕上げ、エコ皿に飾って完成！生徒さんたちは作品を胸元に掲げ、とってもいい顔して写真に納まっていました。



◇6月12日は、福岡県営春日公園（指定管理者：西部ガス株式会社・株式会社ファイブ共同事業体）での腰高花壇（レイズドベッド）6基の植え付け指導を実施しました。これは依頼を受けて年二回行っています。今回3施設から利用者さんが参加され、皆さん施設ごとに4～5名が花壇を取り囲み、指導に当たる会員と挨拶を交わし、花の話で雰囲気是和みまず。



挨拶から始めます



説明を聞き、香りや手触りを楽しみます



杖や車いすを手放して植え付けに熱中

今回はミント類やラムズイヤー、キャットテール、オジギソウなど五感で楽しめる花苗が準備しており、参加された方々に植物の特性を説明しながら香り確かめ、指で触れて感触や葉の動きを楽しんだ後、配置を話し合い、植え付けられました。はじめは遠慮気味の方も少しすると主役でどんどん植えられる。昔取った杵柄？でしょう。陽ざしが強かったので体調が心配。出来たところから記念写真に納まって、緑陰のベンチで休憩しました。

この花壇植えつけ指導も数年継続していますが、いつも参加されている方々の笑顔がスタッフの励みになり、元気を頂いています。



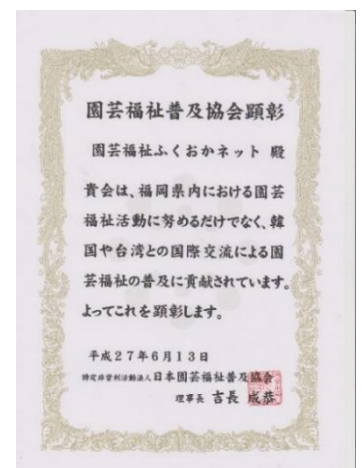
完成した花壇



本日の指導スタッフ

終わってから「私利用者さんと間違っ、冷たいお茶をどうぞ！って声かけられたとー」一同爆笑の後「花壇指導をあと何年出来るだろうか」「次は利用者として来てるかもね」と顔を見合せて笑ってしまいました。

◇6月13日大阪で第14回 園芸福祉シンポジウム～園芸福祉 未来への提言～が開催されました。福岡から代表谷口 博隆、副代表黒瀬 恵子さん、副代表辻 和広さん、米倉 治美さん、山崎 博子さん、角銅 久美子さん、木村 洋子さん、新会員小山内 朝香さん(海の中道海浜公園 職員)、大田 香代子さんが参加しました。総会後に顕彰があり全国から4つの団体と個人2名が受賞しました。私たちの『県内における園芸福祉活動に努めるだけでなく、韓国や台湾との国際交流による園芸福祉の普及に貢献』が認められました。また、会員の角銅 久美子さんが個人部門で顕彰されました。

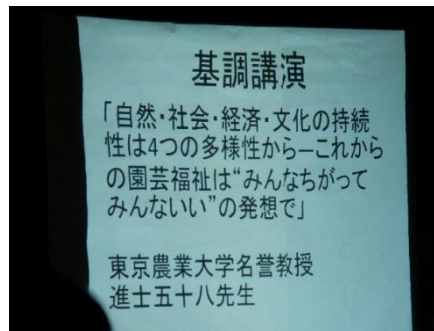


園芸福祉シンポジウム in おおさか&和歌山の現地研修に参加して

副代表 辻 和広

私は「園芸福祉シンポジウム in おおさか」に参加してきました。初夏の蒸し暑い中ではありましたが、エアコンが効いた体育館で良かったです。

今回、私が1番楽しみにしていたのは、基調講演 進士 五十八先生の講演でした。講演の内容



でも「平等だからこそ『みんなちがって、みんないい』」や「里山資本主義」「生物・生活・経済・景観、4つの多様性」の話など幅広い分野からの解説、わかりやすい説明で、とても興味深く、さすが

「進士先生」と思わせる内容で感激、感動しました。

2日目の現地研修では、和歌山県での園芸福祉活動を見学しました。最後に見学した社会福祉法人「コスモス作業所」と「有田川コスモスフーズ」に感銘を受けました。

私も知的に障がいのある生徒に関わる者として、この施設は感動しました。世界最先端の凍結システム CAS（キャス）を使った商品開発や商品づくり。施設利用者の社会自立に向けた作業内容、役割分担。山崎貞子施設長の「夢や熱意」に心を揺さぶられました。



この施設の理念は「ひとりひとりが かがやいて 生きていきたい このまちで」です。障がい者だけでなく、高齢者、健常者、みんなが楽しく安心して共生できる「社会づくり、地域づくり、まちづくり」は園芸福祉活動の理念と一致するものだと思います。今回の研修では、感激、感動、感銘とハートにグッとくるものがとても多い

研修となりました。私もこの精神を忘れず、今後とも感動できる園芸福祉活動に取り組んでいきたいと思っています。



新会員の紹介コーナー

◆濱崎 真人さん

初級園芸福祉士の認定試験合格と同時に園芸福祉ふくおかネットへ入会しました濱崎です。緑に関心を持ったきっかけは、我が家にあった梅の老木[座論梅（ざろんうめ）：一つの花に実が5～6個結実する珍しい梅？]が枯れる前に、その梅の木を実生から育てた時の感動です。

現在、家庭菜園にチャレンジしている他、庭の草花をカメラに収め、『草花のいろは』の勉強を始めたところです。

会員の皆様、ご指導よろしくお願い致します。



◆小山内 朝香さん

園芸福祉ふくおかネットにお仲間入りさせていただいた小山内朝香です。小さい頃から植物が大好きで、学生の頃は林学と生態学を学びました。人と生きものが関わり合う、公園で働く道を選び、神奈川から埼玉、札幌を経て福岡にやって来ました。現在、海の中道海浜公園で企画の担当をする傍ら、樹木医として地道に頑張っています。園芸福祉との出会いは公園でのこけ玉作り教室でした。園芸福祉を通じて出会う、全ての出会いを大切に、これから活動に参加していきたいです。どうぞ宜しくお願いいたします。



前列中央

<今回ご紹介できなかった新会員の方は次号でご紹介いたします。>

ハーブクラフトで楽しく交流！

米倉 治美

去る3月宇美町ボランティア・町民活動支援センター ふみらぼで開かれた交流会「～ボランティアで宇美町をイキイキさせよう～」に参加させていただきました。この日は育苗活動団体や更生支援団体、聴覚障がい者とその支援グループなど様々なボランティア活動をされている皆さんと『卵のポマンダー(香り玉)』を作りました。※中世のヨーロッパでは香りが魔除けになると信じられていました。

卵の殻を小さな三角形にカットした布で貼り、ドライハーブ(ラベンダー)を入れて香りのポマンダーを作りました。皆さん手先を使う細かい作業に戸惑いながらも、女子学生のように楽しそうに会話も弾み、ポマンダーが完成すると「可愛いのができたぁ!」「もう一個作りたいので布切れもらっ